

平成 30 年富良野市教育委員会第 7 回定例会

開催年月日	平成 30 年 10 月 30 日 (火) 午前 9 時 50 分開会
開催場所	富良野図書館 3 階教育委員会室
出席委員	教育長 近内 栄 一 委員 宮本 鎮 栄 委員 津山 正 樹 委員 菅野 義 則
欠席委員	吉田 幸 男 委員
説明のために出席した者の職氏名	教育部長 亀 淵 雅 彦 学校教育課長 佐 藤 清 理 社会教育課長 吉 田 等 学校教育課管理係長 石 坂 征 和
議事日程	日程第 1 会期の決定について 日程第 2 議案第 1 号 平成 30 年度全国学力・学習状況調査結果の公表について 議案第 2 号 富良野市青少年表彰規則に基づく平成 30 年度表彰者の決定について 議案第 3 号 富良野市いじめ問題審議会委員の委嘱について
会議録署名委員の氏名	委員長は、会議録署名委員に次の委員を指名した。 津山 正 樹 委員
傍聴人	なし

議事の経過

開会 午前 9 時 50 分

近内教育長

只今より平成 30 年富良野市教育委員会第 7 回定例会を開会いたします。
本日は吉田委員より欠席の通知がありましたので報告致します
会議録署名委員には、津山委員にお願い致します。
次に、教育長事務報告をお願いします。

亀淵教育部長

平成 30 年 9 月 26 日から平成 30 年 10 月 29 日までの事務報告を致します。お手元の資料に基づき、主だったものについてご説明いたします。
9 月 26 日、文化会館にて市内小中学校音楽発表会に出席し、同日東山公民館において第 1 回樹海中学校のこれからを考える会に出席しています。
9 月 27 日、図書館において学校経営研修会が行われております。

9月30日、布部小中学校学芸会に出席し、また文化会館においてMOA美術館児童作品展表彰式に出席しています。

10月4日、図書館にて特別支援教育研修会が、文化会館にて児童虐待防止講演会が開催されています。

10月6日～8日、ふらの演劇工場にて、ふらの演劇祭が行われております。

10月16日、図書館にて校長会。

10月17日、教頭会、第4回社会教育員会議が開催されております。

10月19日、富良野市沿線中学校英語発表大会が開催されております。

10月24日、扇山小学校開校120周年記念式典に出席。

10月27日、鳥沼小学校学芸会に出席しています。

以上です。

近内教育長

只今の教育長事務報告について、補足説明を行います。

9月26日、小中学校音楽発表会は、今年で45回目となり市内全小中学校が参加しています。小学校は合唱、器楽演奏のスクールバンド、中学校は合唱、吹奏楽で学年が上がるにつれ、レベルが高くなっています。中学校では、合唱、合奏とも高いレベルです。今後につながると期待しています。

9月26日の夜に樹海中学校のこれからを考える会が発足し、教育委員会から適正規模・適正配置の説明を行いました。特に中学校においては生徒数が減少し、平成34年から複式が発生する見込である。教員の数も減っていきます。特に集団学習が難しくなり、生徒会活動、部活動などの学校行事が限られたものになり、教科ごとの授業を専門外の教師が指導しなければならない状況となり、教育環境が非常に厳しくなることを説明しました。できれば市街地の中規模校との統合が望ましいですが、東山地区は遠隔地であり通学に1時間以上かかり、気象条件も厳しく、樹海中学校、小学校の併置化することを検討してはどうかと説明しました。出席の保護者からは、スクールバスを効果的な運行により通学の時間を短縮して、市内の中規模校に行くことが考えられるのではないかという意見や義務教育学校の可能性についての質問もありました。今後、教育委員会から必要な情報提供を行いながら協議を進めて行くことになりました。

9月27日、学校経営研修会は、校長、教頭を対象に上川教育局の中島局長に来ていただき、働き方改革について講演をしています。

9月30日、布部小中学校学芸会では、小規模校ならではの演劇、合唱を異学年での交流した取り組みで、表現力豊かな演劇、合唱を行っていました。同日のMOA美術館児童作品展表彰式では、市内のすべての小学校から絵画、書写の合計1,200点を超える作品が展覧されました。展覧数は年々増加しており、子どもたちの創作意欲の向上が図られていると感じております。

10月4日、特別支援教育研修会では、参加者約70名ほど、児童虐待防止講演会では、100名近くの参加者でした。北海道教育大学釧路校の二宮教授が両方とも

講師として講演いただき、それぞれ市内の小中学校の教職員、保育所の保育士、幼稚園教諭、児童福祉の担当者が出席していました。家庭環境が変化している中でいろいろな課題、それに対しての早期発見、適切な対応の重要性の研修を行いました。

10月6～8日のふらの演劇祭は、市内6小中学校が参加していました。演劇祭の前に学芸会の演目で同じものを発表していますが、学芸会でのすばらしい演劇で、演劇工場でさらにレベルが向上していると感じました。学校教育で行っているコミュニケーション教育でのふらのグループによる演劇指導の成果が確実に上がっていると感じています。

10月16日、17日の校長会、教頭会については、子どもたちの読書活動の推進に重点的に取り組むことを働きかけました。

10月17日、第4回社会教育委員会議では、今年度の青少年受賞者についての答申と併せて、平成31年度の世界教育推進計画の諮問をしました。

10月19日、沿線中学校英語発表大会では、中学生による英語の暗唱、スピーチ、歌、ダンス、劇、朗読など多彩な発表がありました。単に発音とか抑揚だけでなく、全体的な表現力が向上していると感じました。

10月24日、扇山小学校開校120周年記念式典では、120周年に併せて小学校の施設整備として今年度は、駐車場の舗装工事、屋外運動場の暗渠工事を行っております。

10月27日、鳥沼小学校学芸会では、特に劇で、低学年、中学年、高学年に分かれた個々の児童の演技力、意欲的な態度が素晴らしかったです。

以上です。

近内教育長

只今の教育長事務報告について、何かご質問、ご意見等ございませんか。

宮本委員

この中の地域懇談会では教育委員会関係で何かありましたか。

近内教育長

地域懇談会の教育委員会関連では、学用品の関係で、算数セットを小学校入学時に購入してもらっていますが、公費負担を考えられないのかという要望。彫刻セットも学校によって対応が違うため統一化をできないかという質問。今後、この課題については検討していきます。小学生の医療費無償化の完全実施できないのかという要望。単に医療費だけではなく、幼少期から小中学校と全体的な児童福祉、教育施策の中で子育て支援を行っていく基本的な考え方を説明しています。具体的には小中学校では、特別支援の支援員の手厚い配置。また、特に中学校の1年生は35人学級ですが、2年生以降は40人学級で、道教委の方針ですが、学習する環境の指導体制を強化することができないかという意見。特別支援の支援員は25名を小中学校に配置し、全道的にも高い水準ですが、今後に向けて学習の環境については、学校と協議しながら改善に向け協議していきます。

近内教育長

その他、ご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「なし」の声あり》

近内教育長

無ければ、次に進みます。

これより 議題に入ります。

日程第一 会期の決定についてお諮り致します。

会期については、本日一日と致したいと存じますが、これにご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声あり》

近内教育長

ご異議なしと認めます。よって、只今お諮りのとおり決しました。

日程第二に移ります。

議案第1号を議題とします。

議案第1号「平成30年度全国学力・学習状況調査結果の公表について」を説明願います。

亀渕教育部長

議案第1号 平成30年度全国学力・学習状況調査結果の公表について、ご説明申し上げます。

本件は、平成30年4月17日に実施した全国学力学習状況調査の富良野市の調査概要について、公表しようとするものでございます。

概要の作成にあたりましては、富良野市PTA連合会・富良野市校長会・富良野市教育委員会で構成する富良野市学力向上推進プロジェクトで検討したものでございます。

1 ページにつきましては、本調査の目的、概要について掲載しております。

2 ページからは、教科に関する調査の結果につきまして掲載しており、小学校では、国語A及び国語B、理科の3教科で、全国平均正答率と同等となっております。算数A及び算数Bでは、全国平均正答率を下回っております。中学校では、国語A及び国語B、数学A及び数学B、理科の全ての教科において、全国平均正答率を上回っております。

これらの結果を受けまして、今後の授業改善に向けては、6ページ中段で示しているとおおり、子どもの状況を細かく把握し、指導の改善・充実に取り組んでま

います。

7ページからは、児童・生徒質問紙調査に関する結果の概要につきまして、掲載しており、生活習慣・学校生活等と学力との相関関係において、朝食を毎日食べている、家で、自分で計画を立てて勉強している、家で、学校の授業の予習・復習をしている子どもは、全国平均を上回る結果に結びつく傾向にあることが分かります。

このことから、家庭における課題と改善のポイントを13ページに示し、早寝・早起き、挨拶など、家庭での生活リズムを整えるなど、学びの土台の定着、学びの環境を整える取り組みを推進してまいります。

以上、よろしくご審議のほど、お願い申し上げます。

近内教育長

只今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

宮本委員

学力だけみれば、学ぶならこの町で、合言葉にしても良いのではないかと。演劇などの取り組みも含めて、大げさに言ってもいいと思います。

近内教育長

小学校から中学校に上がっていく中で、経過を見ていくと小学校6年生の時よりも中学校3年生の時の方が、力が確実に付いているのが平均して見えてきます。

菅野委員

学力向上に向けた取組の新たな取り組みとして、Q-U検査について、何かわかりますか。

近内教育長

春と秋に調査を2回行い、秋の分の結果が出ていないため、変化がわからないため、もう少し結果についてはかかります。学級での学習の状況とか学校での位置関係など総合的なことがわかります。

近内教育長

その他、ご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「なし」の声あり》

近内教育長

無ければ、議案第1号について同意することにご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声》

近内教育長

ご異議なしと認めます。よって、原案のとおり決しました。

次に、議案第 2 号を議題とします。

議案第 2 号「富良野市青少年表彰規則に基づく平成 30 年度表彰者の決定について」を説明願います。

亀淵教育部長

議案第 2 号 富良野市青少年表彰規則に基づく平成 30 年度表彰者の決定について、ご説明申し上げます。

本件は、富良野市青少年表彰規則に基づき、各町内・区会長及び関係機関・団体に対し本年 8 月に表彰者の推薦について依頼し、合わせて、広報ふらの、市ホームページ及びふらの市民講座情報誌「ま～なび」に同内容の記事を掲載いたしました。その結果、推薦の期日までに、1 個人 1 団体の推薦がございました。

これを受けまして、9 月 25 日開催の第 3 回富良野市社会教育委員会議に対し、表彰者の選考について諮問をいたしました。

選考委員 3 名による調査を行った後、慎重に審議をいただき、10 月 17 日の社会教育委員会議におきまして、議案に記載のとおり、本年度の表彰候補者とする答申をいただいたところでございます。

候補者の事績につきましては、議案の中の一覧表のとおりでございますが、あらためてご説明させていただきます。

まつもとまさあき

個人表彰者の松本雅昭さんですが、上五区在住の今年 28 歳の方でございます。富良野緑峰高等学校を卒業後、就職により一度は富良野を離れたものの、強い郷土愛から農業後継者として富良野に戻られ、また、更に高い向上心から、専門知識の修得を目指し、富良野緑峰高等学校農業専攻科へと入学、無事 2 年間の課程を修了しております。

その後、富良野農協青年部に入部し、昨年度には富良野西部地区の地区長を担うなど、農業青年の牽引役として手腕を発揮され、青年部活動である子ども農作業体験（扇山小や東小等）には例年積極的に取り組み、また、今年度は『布部のちっちゃなマルシェ』の企画運営にも携わり、ふるさとを愛する子どもたちの育成と地域の発展を目指して日々尽力されているところであります。

さらに、平成 22 年 4 月より富良野消防団第 5 分団に入団し、地域住民の安全確保に使命感を持って取り組まれ、平成 28 年度には勤続 5 年の表彰や優良賞を受賞したところであります。

誠実明朗な性格から、地域からの信頼も厚く、『富良野農業のブランド力をもっと高めるとともに、これからも地域をしっかりと盛り上げていきたい』との強い思いがあり、今後においても、その活動が地域活性化の一翼を担い、市内の青少年の模範となることが大いに期待されているところであります。

次に、団体表彰者の『金剛禅総本山少林寺富良野光明寺道院』ですが、金剛禅総本山少林寺富良野光明寺道院は、平成 22 年 2 月に設立され、少林寺拳法の修練を通して人づくりによる国づくりを目的とし活動しております。

現在は 31 名の少年少女拳士が在籍し、体力面だけではなく精神面からの育成にも力を入れており、新たな 1 年の決意と健康と成長を祈念した「雪中稽古」や、宿泊研修では調理実習、座禅体験、絵本の読み聞かせ、いじめ問題等をテーマにしたグループ討議を行ない、さらには、ゴミ清掃等の社会奉仕活動にも積極的に取り組んでいるところであります。

また、高校生が積極的に子ども達の指導に携わることで、互いに稽古等に取り組む意欲・姿勢等が高まる効果も生まれており、1 年の成果と日頃の家族への感

謝を伝える演武会では、演武の披露だけでなく、「ありがとう」を伝えたい人への感謝の気持ちを色紙にしたためて発表させるなど、子ども達に考えさせる力や解決させる力を身に付けさせることに重きを置き、心の教育にしっかり取り組むことで、少林寺拳法の大命題である『人づくり』と『人づくりによる地域づくり』を目指した活動が実践されている。

これらの取り組みが、毎年、大会で好成績を残すなどの成果にも現れており、今後も青少年の健全育成に大きく貢献し、他の青少年団体の模範なることが大いに期待されているところです。

以上のことから、個人表彰者につきましては、表彰規則第3条第1号に規定する「おおむね30歳までの青少年」であり、かつ、「日常生活において責任、勤勉又は奉仕などの徳性をもって活動し、明るい地域社会の公益向上に貢献した活動を3年以上実践している者」に該当し、また、団体表彰者につきましても、表彰規則第3条第2号に規定する「文化、教養、体育又は奉仕活動を目的としておおむね30歳までの青少年で組織されている団体」であり、かつ、「堅実な活動を常時又は定期的に3年以上継続して行い、それぞれの活動の成果が著しく他の青少年団体の模範となるもの」に該当いたしますので、本年度の青少年表彰者として決定していただきたくご提案いたします。

以上、よろしくご審議のほどお願いいたします。

近内教育長

只今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声》

近内教育長

ご異議なしと認めます。よって、原案のとおり決しました。

次に、議案第3号を議題とします。

議案第3号「富良野市いじめ問題審議会委員の委嘱について」を説明願います。

亀淵教育部長

議案第3号 富良野市いじめ問題審議会委員の委嘱についてについて、ご説明申し上げます。

本件は、富良野市いじめZERO(ゼロ)推進条例第27条に基づき、いじめZEROの推進を図るため、教育委員会の附属機関として富良野市いじめ問題審議会を設置しておりますが、現委員が本年9月30日をもって任期満了となりましたので、別紙名簿のとおり、9名の方を委員に委嘱するものでございます。

任期につきましては、平成30年10月1日から平成32年9月30日までの2年間でございます。

以上、よろしくご審議のほどお願いいたします。

近内教育長

只今の説明について、ご質問、ご意見等ございませんか。

《各委員より「なし」の声あり》

近内教育長

無ければ、議案第3号について同意することにご異議ございませんか。

《各委員より「異議なし」の声》

近内教育長

ご異議なしと認めます。よって、原案のとおり決しました。

以上で、本日の議事はすべて終了致しました。

これをもって平成30年富良野市教育委員会第7回定例会を閉会いたします。

閉会 午前10時17分